

授業の詳細がわかる『授業デザイン案』（小学4年生国語）

～登場人物の心情の捉え方を深めるオクリンクの実践～

1 単元名

「ごんぎつね」気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう
 (光村図書「国語4 下巻 はばたき」)

2 単元の指導目標

- (1) 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人ひとりの感じ方などに違いがあることに気づくことができる。
- (2) 登場人物の気持ちの変化や情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。
- (3) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。
 - ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。

3 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現等 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|--|
| ・様子や行動、気持ちを表す語句の量を増やし、語彙を豊かにしている。(1) オ | ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。C (1) エ ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。C (1) オ ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人ひとりの感じ方などに違いがあることに気づいている。C (1) カ | ・学習の見通しをもって、読んで考えたことを話し合い、一人ひとりの感じ方などに違いがあることに積極的に気づこうとしている。 |

4 本単元の POINT

国語では、「白いぼうし」「一つの花」の学習を通して、場面ごとに人物の会話や行動を整理し、登場人物の人柄をつかむ学習を行っている。さらに、中心となる言葉や文、描写から場面の様子を想像することも繰り返し行ってきた。本教材でも、既習の読みの力を生かして、叙述をもとに人物の性格や人柄などを想像する力を伸ばしていきたい。また、自分の考えを積極的に発表し、友だちと自分の考えを比べて共通点や相違点をとらえていく活動を通して、友だちと感じ方に違いがあることに気づき、考えを深めていくことを本単元のねらいとしたい。

(2) 単元について 教材文「ごんぎつね」は、いたずら好きのひとりぼっちの小ぎつねのごんと、母の死によっ

てごんと同じくひとりぼっちになってしまった兵十が登場する物語である。自分のいたずらのために兵十のおつかあを死なせてしまったと考えたごんは、後悔しつぐないを行う。しかし、そのつぐないも兵十に理解されないまま、最終的には兵十に打たれてしまうという切ない心のすれ違いを描いた物語である。この物語は、時や場所が具体的に書かれており、児童にとって構成を捉えやすい教材である。また、いたずらばかりしていたごんが、同じ境遇の兵十へ親近感を募らせ、つぐないを続けるごんの気持ちが大きく変わっていくことを捉えやすい教材である。さらに、登場人物の独話や心内語、優れた情景描写がふんだんに盛り込まれ、それらを関連付けながらより深く登場人物の心情を捉えていくのに適した教材であると考えられる。

5 単元（全13時間扱い）

（1）本時までの学習記録

第1時 ・題名やリード分から学習の見通しをもつ。

- ・単元のめあてをおさえ、文の構成をつかむ。
- ・初発の感想を書く。

【「ごんはどんなきつねか」を話し合いながら読みを深め、考えたことを伝え合おう】

第2時 ・初発の感想を共有し、物語の設定を大まかに確認する。

- ・「ごんの行動が分かる」文章にサイドラインを引く。

第3時 ・第1場面前半を読み、ごんの行動が読み取れる部分をさがし、中心人物の設定をまとめる。

- ・「ごんはどんなきつねか」をオクリンクのカードにかく。

第4時 ・第1場面後半を読み、うなぎを盗んだごんの行動の理由を考える。

- ・「ごんはどんなきつねか」をオクリンクのカードにかく。

第5時 ・第2場面を読み、いたずらを後悔しているごんの気持ちを考える。

- ・「ごんはどんなきつねか」をオクリンクのカードにかく。

第6時 ・第3場面を読み、つぐないをするごんの行動と、兵十への気持ちの変化をとらえる。

- ・「ごんはどんなきつねか」をオクリンクのカードにかく。

（2）本時について

●本時

第7時

●目標

ごんの性格・様子・行動を表す言葉の表現に着目し、「ごんはどんなきつねか」について考えをもち、一人ひとりの感じ方などの違いに気づくことができる。

●本時の学習計画

- ・第4・5場面を読み、兵十と加助の後をつけるごんの気持ちを考える。
- ・「ごんはどんなきつねか」をオクリンクのカードにかく。

●本時の評価規準

文章を読んで理解したに基づいて、「ごんはどんなきつねか」考えをもち、一人ひとりの感じ方などに違いがあることに気づいている。

(3) 本時後の学習計画

- 第8時 ・第5場面を読み、「二人の心は通じ合えるのか」を考える。
・「ごんはどんなきつねか」をオクリンクのカードにかく。
- 第9時 ・第6場面を読み、ごんに問いかけた兵十の気持ちとうなずいたごんの気持ちを考える。
・「ごんはどんなきつねか」をオクリンクのカードにかく。
- 第10時 ・物語全体を読み、「二人の心は通じ合えたのか」をテーマに考え、根拠を明確にして話し合う。
・「ごんはどんなきつねか」をオクリンクのカードにかく。
- 第11時 ・物語全文を読み、「ごんはどんなきつねか」最終的な自分の考えをオクリンクのカードにまとめ、グループで共有する。
- 第12・13時 ・授業を通して学んだことや友達の意見を聞いて思ったこと、自分の考えが変わったことなどを「まとめの感想文」として書く。

6 本時 (全13時間中の7時間目)

(1) 本時の目標

ごんの性格・様子・行動を表す言葉の表現に着目し、「ごんはどんなきつねか」について考えをもち、一人ひとりの感じ方などの違いに気づくことができる。

(2) 本時の展開

| 時間 | ○学習内容 ・学習活動 T:教師 C:子ども | ○指導上の留意点 ★評価 | ミライシード活用 POINT |
|------------|----------------------------------|--------------|----------------|
| 導入 (5分) | ・前時を振り返り、本時のめあてを確認する。 | | |
| | 【めあて】第4・5場面を読み「ごんはどんなきつねか」を考えよう。 | | |

展開
(30分)

・第4・5場面を音読する。
T: 4・5場面を音読しましょう。

○ダウト読みをして、正しい表現に着目する。

T: これからダウト読みをします。先生が変えている文章の正しい表現とそのわけを考えましょう。

○「ごんはどんなきつねか」を考える。

T: 第4場面を読み、「ごんはどんなきつねか」を教科書の文章をもとに、カードにまとめましょう。

- ①カードの色を決める。
- ②文章をさがしてカメラで撮影し、カードに貼り付ける。
- ③「ごんはどんなきつねか」自分の考えを入力する。

・グループ(3人)で共有する。
T: グループになり、自分のカードを説明しましょう。

C: くりや松たけを持っていったのは自分だと気づいて欲しいきつね

C: 兵十に気づいてもらえないかわいそうなきつね

○表現を変えた文章を模造紙で用意し、板書する。

○ごんは道の真ん中にかくれて、じっとしていました。

→○「かたがわ」

・かくれるため、見つかりたくないからだと思う。

○加助のかげぼうしをふみふみいきました。→○「兵十」

・兵十の話を知りたいから。

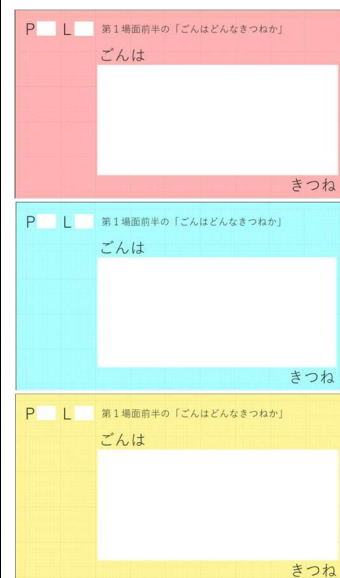
○オクリンクのカードを児童に3種類(赤・青・黄)送る。

赤→よいきつね

青→よくないきつね

黄→どちらとも言えない

○共有したカード



| | | | |
|--------------------------------------|---|---|--|
| ま と め (1 0 分) | <p>○全体で共有する。 T:オクリンクでみんなの意見を見てください。</p> <p>○本時を振り返る。 T:全員のカードから本時の「ごん」について振り返りましょう。</p> | <p>★文章を読んで理解したことに基づいて、「ごんはどんなきつねか」考えをもち、一人ひとりの感じ方などに違いがあることに気づいている。(思)</p> <p>【発言・観察】</p> | |
|--------------------------------------|---|---|--|

(3) 授業評価の観点（事後検討会の議題例）

- ・「ダウト読み」はごんの様子や行動、気持ちを表す語句に着目するための手段として有効であったか。
- ・自分の考えをもち、伝え合うための手立てとして、オクリンクの活用は有効であったか。